

インターポート

兵庫教育文化研究所だより

No.179

2017年2月13日

発行所 兵庫教育文化研究所
〒650-0004

神戸市中央区中山手通 4-10-8

自分を大切にしよう！ 保健・体育部会 授業研究会

保健・体育部会が、三木市の中学校において授業研究会をおこないました。三年生の「保健」の授業で、「感染症の予防」についての授業でした。「性感染症」について、正しい知識を習得するとともに、感染症と性感染症のちがいをあきらかにしながら、予防するためにはどうすればいいのかを考え、話し合うという授業内容でした。

授業は、教科担当者と養護教諭とのT.Tの形でおこなわれました。前半は、教科担当者が「性感染症」について正しい知識を学ぶために、ワークシートを用いて症状や特徴などを整理していきました。その際、養護教諭がウイルスの様子や、母子感染した事例などをスライドで示しながら伝えていきました。

その後、「性感染症を予防するにはどんなことが大切か考えよう」というテーマで、班で意見を出し、話し合いました。まず、個人の考えをワークシートに書き、班で意見を交流する形で話し合いがすすめられました。そして、班の意見を学級全体で交流した後、養護教諭から自身のこれまでの養護教諭としての経験にもとづき、「自分を大切にしてほしいこと、本当に困ったときには、どのように行動すればよいのか」という生徒へのメッセージで授業を終えました。



授業後の研究会では、「学級づくりがしっかりしていて、性的な話が出てもしっかりと取り組んでいた」「学習内容を自分ごとにもどすか。友だちから相談されたらどう返すか考えさせることもできた。その時間の確保のため、2時間扱いでもよかったのではないか」「『アクティブ・ラーニング』を取り入れるとなると、本当に大事なところは何なのかをさらに考えながら保健学習の授業づくりをしなければならない」といった意見が出されました。

さらに、今後へのつながりとして、「養護教諭とのT.Tをおこなったことによって、『さっきの授業で気になることがあるんだけど』と保健室へ来室するきっかけにもなる。養護教諭が授業に入ることによって、その後の相談がしやすくなる。中学校では、その意味合いがさらに大きくなると思った」「養護教諭から伝える場面で、もしもの時の相談機関が紹介されていた。男子はどの機関に行けばよいかという紹介もあり、実際に役立つ内容だった」という意見が出されました。

今後も保健・体育部会では、子どもたちを中心とした授業をめざして研究を続けていきます。
(本授業の指導案は「組合員専用ページ」に掲載しています。ID、パスワードは各支部へお問い合わせください。)